

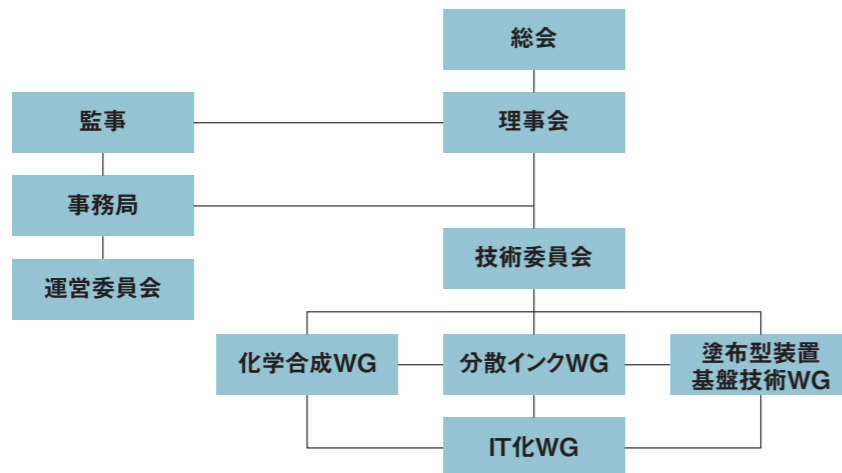
塗布型機能デバイス技術研究組合

2012年1月24日民間企業5社と共同で、「新世代塗布型電子デバイス技術研究組合 (ECOW)」を設立しました。有機太陽電池、有機ELを塗布する技術の開発に取り組んでまいりました。このたび、市場の変化に対応すべく、従来の個々の研究をより高度化し、理論的およびIT技術によるアプローチにより、低コスト化を行い、新規性のある研究開発を行っていくこととなりました。2017年10月、より多様な機能デバイスの研究開発に取り組むため、研究開発対象を電子デバイスから機能デバイスに変更し、組合名の変更をいたしました。

塗布型機能デバイスのバリューチェーン



組織図



組合員



黒金化成株式会社

1947年設立。「ケミストリーなくしてサイエンスの発展はあり得ない」との一貫した信条のもと、東海地区でも稀な開発主導型の有機合成化学メーカーとして、確固たる地位を築いてきました。これまでに培ってきた有機合成技術を活かして材料を提供する予定です。



株式会社コアコンセプト・テクノロジー

2009年設立。「Think Big, Act Together」をコンセプトに解析、システム開発、コンサルティングビジネスを展開。独自の解析手法で企業内に潜む課題を表出・数値化し、豊富な経験をもつ解析エンジニアが分析・システム開発・解決策の提案を進めて参ります。



株式会社T&K TOKA

1947年設立。常にチャレンジングな姿勢で、一歩進んだ技術から優れた製品を世に送り出しているインキメーカーです。国内シェアNo.1のUVインキは印刷だけでなく、ハイテク分野にも市場が広がっており、さまざまな分野への応用が期待されています。



東レエンジニアリング株式会社

1960年設立。E (Engineering) と E (Electronics) を両軸に、大型のプラント建設から高精細の液晶・半導体製造装置にいたるまで、一貫した事業運営を行っています。近年手掛けている太陽電池やリチウムイオン電池関連の製造装置は国内外から注目を集めています。



秋田県産業技術センター

1928年に前身の秋田県工業試験場が設立され、「売れるものづくりの推進」を合言葉に県内の工業産業の育成と技術支援を中心に据えながら、輸送機産業、環境・エネルギー産業、電子デバイス産業、医療機器産業を「四つの柱」とする技術開発や研究を行っています。



甲南大学

他の多くの私大理工学部が工学を基盤とするのに対して、理学をベースとしている甲南大学理工学部。本研究組合では基礎科学に立脚した分子設計技術を基盤として、種々の有機電子素子に適した芳香族系有機材料の開発に貢献します。



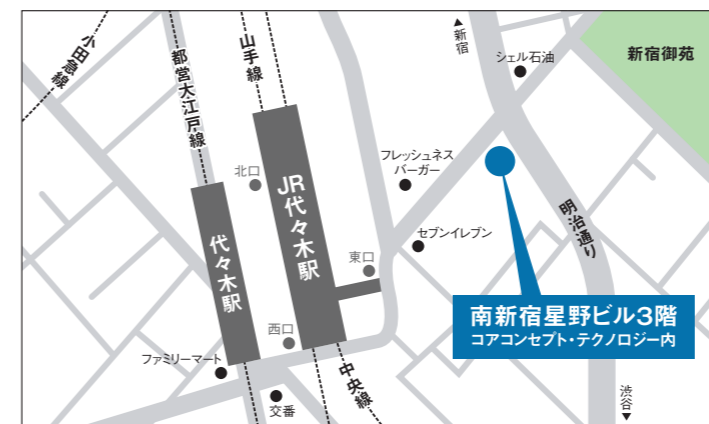
国立大学法人埼玉大学

埼玉大学では、溶液前駆体による霧化塗布法により機能性材料の凹凸基板への成膜、トレントへの埋め込み、選択成長、エッチング等への応用を目的に研究開発を行っています。特に帯電ミストの輸送および基板上付着過程の診断を通じて塗布プロセス技術の開発に貢献します。



理化学研究所

物理・化学・生物・工学・医学にわたる広範な分野で、基礎から応用に至る様々な研究を実施し、これまでに数多くの研究成果を世に出しています。材料・塗布技術・デバイス評価・シミュレーションなどの科学技術を駆使して、塗布型電子デバイスの早期実現に貢献します。



塗布型機能デバイス技術研究組合

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-23-13
南新宿星野ビル3階
(株)コアコンセプト・テクノロジー内
TEL 050-3580-8235
E-MAIL office@ecow.or.jp
WEBSITE https://www.ecow.or.jp/

アクセス

JR【代々木駅・東口】徒歩3分
都営地下鉄大江戸線【代々木駅】徒歩4分

ECOW PRINTED FUNCTIONAL DEVICE TECHNOLOGY RESEARCH ASSOCIATION

本組合は、組合員の共同による塗布型機能デバイスに関する試験研究、その他組合員の技術水準の向上及び実用化を図るための事業を行うことを目的としています。

本組合では組合員を募集しています。

本組合の運営方針

- ① 組合員は専門部に所属します。
- ② 組合事務・管理は、各組合員企業が支出する賦課金で運営します。
- ③ 原則として、研究開発は各法人が内部資金で実施します。
- ④ 組合が外部資金(開発費)を獲得した場合、各法人に再委託します。

理事長：下村克則 (株)コアコンセプト・テクノロジー代表取締役